

**令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験 小学校音楽専科特別選考 実施要領**

1 日 時 令和2年8月23日(日) 8時30分～17時15分

2 会 場 さいたま市立浦和別所小学校

3 内 容

- (1) 模擬授業
- (2) 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問
- (3) 実技

4 日 程

諸注意・概要説明 8時30分～9時00分
実技試験 9時00分～17時15分

5 模擬授業の内容

提示された課題について、模擬授業を7分間実施する。

6 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問の内容

- (1) 模擬授業に関すること
- (2) 小学校学習指導要領(平成29年告示)に関すること
- (3) 指導と評価に関すること
- (4) 授業の展開に関すること
- (5) 専攻、音楽の専門性に関すること
- (6) 音楽科の教員への夢・希望に関すること

7 実技の内容

- (1) 提示された旋律をソプラノリコーダーで演奏する。
- (2) 任意の楽器又は歌の演奏を行う。
- (3) ピアノで弾き歌いをする。

「まきばの朝」、「もみじ」、「こいのぼり」、「冬げしき」、「おぼろ月夜」、「われは海の子(歌詞は第3節まで)」の中から1曲を選ぶ。(弾き歌いは、小学校用教科書に記載されている調で行うこととする。)

8 実施時間及び場所

時 間	試 験 内 容	場 所
30分	諸注意・概要説明	控室
15分	模擬授業 模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問	試験室1
15分	実技	試験室2

※試験室2、試験室1の順で実施する受験者もいる。

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験 【小学校音楽専科特別選考 模擬授業】

次に示した<題材名><学習指導要領との関わり>に基づき、下の<第1時のねらい>にせまるための場面について、右の<展開>を参考にして模擬授業を行ってください。

<題材名> 「曲想を生かして 表現しよう」(2時間扱い)

<学習指導要領との関わり>

「A 表現」(1) イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。

〔共通事項〕(1) ア リズム、旋律、フレーズ

イ 反復、変化

<教材> 「スキーの歌」(文部省唱歌 林 柳波 作詞 橋本 国彦 作曲)

<第1時(本時)のねらい>

小学校学習指導要領(平成29年告示)の第2章 第6節 音楽 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2内容 A表現(1)歌唱 イに「曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること」とあります。

第1時では、リズム、旋律、フレーズ、反復、変化等の〔共通事項〕について、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができるよう指導します。

なお、本時の学習指導は題材の第1時とし、本時の前半の学習で、楽譜に示されている音程とリズムを正確に歌えるものとします。

「第1時(本時)」の模擬授業の<条件>は、次の1~5とします。

- <条件>
- 1 模擬授業の時間は7分とする。
 - 2 <展開>に示した網掛け部分は、模擬授業を行わない。
 - 3 少なくとも一度は、ピアノで伴奏を弾きながら歌う活動を入れる。
 - 4 黒板やホワイトボードに板書をする場面を取り入れる。
 - 5 試験室では以下のものが使用できる。
この用紙、楽譜、A3版拡大譜(書き込み可)、黒板、黒板消し、ホワイトボード、ホワイトボード消し、チョーク(白、黄、赤)、ホワイトボードマーカー(黒、赤、青)プロッキー(黒、赤、青)

<模擬授業実施に当たっての注意事項>

- ・試験員が指示をしたら模擬授業を開始してください。
- ・試験員が指示をしたら模擬授業を終了してください。
- ・模擬授業の際、試験員に対して発問をしてもかまいませんが、応答はしません。

<展開 2時間扱い 第1時(本時)>

学 習 内 容 ・ 学 習 活 動	○指導上の留意点
<p>1 学習の雰囲気づくりをする。</p> <p>2 「スキーの歌」の旋律の音取りをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>模擬授業では、この場面は行わない。</p> </div>	<p>○気持ちを集中させるとともに、心と体をほぐし、伸び伸びと表現できる音楽活動を行う。</p> <p>○曲想等には触れず、楽譜に示されている音程とリズムを正確に歌えるようにする。</p>
<p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【めあて】</p> </div>	
<p>4</p>	<p>(歌う活動を入れる。)</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>模擬授業では、この場面は行わない。</p> </div> <p>5 本時の学習で学んだことを振り返り、次時にさらに深めたいことや取り組みたいことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の言葉でまとめや振り返りをする。 ・本時に学んだことを生かして歌う。 	<p>○拡大譜や音で確認して実感できるようにする。</p>

※模擬授業終了後に、模擬授業の資料すべてを試験員に提出してください。

受験番号

氏名

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験 小学校音楽専科特別選考
模擬授業に係る質問及び専門性に係る質問例

1 模擬授業に関すること

- (1) 模擬授業であなたが最も工夫したことは、どのようなことですか。
- (2) 板書をする際に、気を付けたことは何ですか。
- (3) 今の模擬授業の課題で授業を行うとき、あなたが児童に身に付けてほしい力は何ですか。

2 小学校学習指導要領（平成29年告示）に関すること

- (1) 平成29年告示の小学校学習指導要領 音楽科の目標には、育成を目指す資質・能力として3つ示されています。それは何ですか。
- (2) 平成29年告示の小学校学習指導要領 音楽科の目標に「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」と示されています。そのために、児童がどのようなことを自覚したり意識したりすることが大切ですか。
- (3) 平成29年告示の小学校学習指導要領 第1学年及び第2学年の目標との内容の「3内容の取扱い」に示されている、第1学年の歌唱の共通教材は何ですか。

3 指導と評価に関すること

- (1) 「指導と評価の一体化」と言われますが、どのようなことですか。
- (2) 「主体的に学びに向かう態度」の評価を、学習のどの場面でどのように行いますか。
- (3) 児童が「本時の学習で、何が身に付いたか」を実感するために具体的にどのようなことを行いますか。

4 授業の展開に関すること

- (1) 児童が音楽活動の楽しさを体験する授業を展開するために、どのような工夫を行いますか。
- (2) 音楽づくりの活動で表現ができない児童がいる場合、どのような手立てや支援を行いますか。
- (3) 魅力的な音楽活動を展開するための学習環境を、どのように整えますか。具体的に述べてください。

5 専攻、音楽の専門性に関すること

- (1) 音楽の授業で指導をする教員として必要な資質・能力を身に付けるために、あなたはこれまでにどのような取組をしてきましたか。
- (2) 吹奏楽や金管バンド、合唱などの課外活動等で指導をすることになったとき、あなたがもっている力で生かせるものを具体的に説明してください。

6 音楽科の教員としての夢・希望に関すること

- (1) 児童に伝えたい「音楽の素晴らしさ」とは、どのようなことですか。
- (2) 学校における音楽活動を通して、児童にどのような力を育成したいですか。
- (3) 音楽の教員として、さらに学んでいきたいことや高めていきたいことはありますか。

令和3年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 実技試験 小学校音楽専科特別選考 実技課題

<実技>

①ソプラノリコーダーの課題 (試験会場内で提示)

The musical score is written on a single staff in 4/4 time with a key signature of one flat (B-flat). It consists of four lines of music. The first line starts with the tempo marking 'animato' and the dynamic 'mf'. The second line ends with the tempo marking 'cantabile'. The third line features a 'cresc.' marking with a dashed line extending to the end of the line, and 'con brio' at the end. The fourth line concludes with a double bar line. The score includes various rhythmic values, including eighth and sixteenth notes, and rests.

②任意の楽器又は歌の演奏

③ピアノで弾き歌い

「まきばの朝」、「もみじ」、「こいのぼり」、「冬げしき」、
「おぼろ月夜」、「われは海の子 (歌詞は第3節まで)」の中
から1曲を選び、ピアノで弾き歌いをする。

※小学校用教科書に記載されている調で行うこと。